

# 平成 29 年度 事業報告

## 1 総括

平成 29 年度は母校支援事業の充実等に対応した財源確保を図るため、P T A の賛同のもと入会金を 4, 0 0 0 円に改定しました。

また、母校では 7 月から 1 1 月にかけて老朽化した創立 60 周年記念図書館の解体工事が行われました。

さらに、9 月に千葉県が作成した「千葉県県有建物長寿命化計画(原案)」のパブリックコメント(意見募集)において、本会及び多くの会員が「県立移管 120 周年の平成 31 年をめざして、東館の図書館機能を備えた校舎への早期建替え」について意見提出を行いました。1 1 月に決定された当該計画では残念ながら佐倉高校の大規模改修等はⅡ期(平成 35~39 年度)と位置づけられました。

加えて、10 月には平成 31 年の県立移管 120 周年に向けて学校・P T A・鹿山会の三者により「県立移管 120 周年記念事業実行委員会」を設置しました。

実施した事業の具体的な内容は、次のとおりです。

## 2 本部事務局の活動状況

### (1) 会議等の開催状況

- ・ 評議員会 5 月 2 1 日(土) 10:30 ~ 4 7 人参加
- ・ 第 67 回総会 6 月 1 8 日(日) 10:00 ~ 1 0 2 人参加  
(ウイシュトンホテル・ユーカーリ)
- ・ 役員会 6 回開催 ( 4/16、5/6、7/29、10/21、1/13、3/18)

### (2) 各支部等との連携

招待を受けた各支部・同期会の総会・懇親会へ会長(または代理)が出席するなど、本部との連携を深めました。

4 月 2 2 日	東京鹿山会	1 0 月 2 6 日	N A A グループ鹿山会
5 月 2 7 日	四街道鹿山会	1 1 月 2 6 日	富里鹿山会
8 月 4 日	千葉市役所さくら会	1 1 月 1 2 日	桜城会
1 0 月 1 5 日	印西市栄町鹿山会	1 1 月 1 8 日	成田鹿山会
1 0 月 2 1 日	八千代鹿山会		

### (3) その他

- 5 月 1 0 日 校内幹事等の歓送迎会を開催
- 1 1 月 4 日 長嶋茂雄野球教室に参加
- 1 月 8 日 堀田家正倫忌に参加

### 3 各委員会の活動状況

#### □総務委員会

- ① 総会・役員会等の会議開催及びその準備
- ② 年会費・入会金の納入通知及び収納事務
- ③ 予算案・決算書等の作成
- ④ 各支部との連絡調整等

#### □広報委員会

- ① 会報「鹿山会」第13号の編集発行  
発行日 : 10月20日  
配布先 : 会員(約17,000人)及び在校生等(約1,000人)  
印刷部数 : 1万9,000部
- ② ホームページの更新(13回)

#### □教育振興委員会

- ① 生徒奨励
  - ・ 新入生への校章贈呈 (平成29年4月7日 入学式)
  - ・ 卒業生に記念品贈呈 (平成30年3月7日 同窓会入会式)
  - ・ 「鍋山祭」への助成 (6月23日～24日)
  - ・ 卒業生による講演会「ようこそ先輩」への助成
- ② 部活動奨励
  - ※ 関東大会(準ずるものを含む)以上の競技会等への参加助成(6部、12件)
  - ・ カヌー部 (関東大会、インターハイ、関東大会<団体>、国体出場)
  - ・ 弓道部 (関東大会、関東選手権大会)
  - ・ 自転車部 (関東大会、全国大会)
  - ・ 陸上部 (関東大会、関東選手権大会)
  - ・ 天体気象部 (全国高校総合文化祭)
  - ・ 化学部 (全国高校総合文化祭)
- ③ 国際交流支援費
  - ・ オランダ: ドラードカレッジ校への派遣事業の助成 5名(11/9～11/19)
  - ・ オーストラリア短期研修事業への助成 引率2名、生徒20名(7/21～8/5)

#### □鹿山文庫委員会

- ① 鹿山文庫講演会の開催(母校との共催)

日時	11月25日(土) 午後2時～
会場	母校・地域交流施設研修室
演題	安政2年の佐倉藩士大坂在番日記
講師	佐倉藩年寄部屋日記を読む会 竹村 <sup>たけむら</sup> 道央氏 <sup>みちひさ</sup> (昭和34年卒)
参加者	約50名

② 藩校サミットに参加

9月30日に石川県金沢市で開催された「第15回全国藩校サミット金沢大会」に7名が参加

#### 4 (参考) 千葉県県有建物長寿命化計画の策定経過概要

○ 目的

建築後30年を経過した建物が約7割に達しており、厳しい財政状況の中で財政負担の軽減と平準化を図り、大規模修繕、建替え、計画保全により長寿命化対策（建物の目標使用年数を従来の65年から80年に延長）の円滑な実施を図る。

○ 経過

- 平 29.9.6 千葉県が「千葉県県有建物長寿命化計画（原案）」（計画期間：平成30～57年度）を発表。原案では、「佐倉高校の大規模改修はⅡ期（平成35～39年度）」と位置付け。
- 10.13～11.6 パブリックコメント（県民意見募集）
- 11.22 パブリックコメント結果と当該計画の策定（決定）を公表  
意見提出者数64名、1団体【鹿山会】  
延べ意見数69件のうち佐倉高校関係55件

#### 佐倉高校関係者の意見

「旧図書館棟が解体され、その再建は未定であるほか、昭和35年建築の東館は極めて老朽化が著しい状況である。（中略）そのため佐倉高校の整備計画をⅡ期からⅠ期（平成30～34年度）に変更するとともに、老朽化した県内最古の鉄筋校舎の東館について図書館機能を備えた安全な校舎への建替えについて県立移管120周年の平成31年をめざして着手してほしい」（55件）

#### 県の考え方

「県立高校の整備計画（Ⅰ期・Ⅱ期）は改修工事を必要としている数多くの県立学校があり、かつ限られた財源の中で、老朽化等の状況のもとに学校単位で優先順位を決定したものです。

佐倉高校については、これまでも普通教室棟（東館・本館）の大規模改修等、校舎の維持補修を行ってきたことなどを踏まえ、今回の計画ではⅡ期に位置付けたところです」

## 平成29年度鹿山会決算報告

### 1 一般会計

(単位:円)

#### (収入の部)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
1 入会金	960,000	1,280,000	320,000	卒業生入会金4,000×320人
2 年会費	4,000,000	3,786,186	△ 213,814	H29年度会費収入2,000+寄付金(1,284人)
3 雑収入	820,000	810,310	△ 9,690	懇親会出席者負担金8,000×99人、利子等
4 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	基本基金会計より
5 繰越金	1,107,030	1,107,030	0	前年度より
合計	7,887,030	7,983,526	96,496	

#### (支出の部)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
1 総務費	3,810,000	3,534,092	△ 275,908	
(1)会議費	1,200,000	1,069,537	△ 130,463	総会懇親会792,000
(2)財務費	2,180,000	2,126,223	△ 53,777	年会費案内発送委託料 2,126,223 (株) サラト
(3)交際費	300,000	183,302	△ 116,698	支部総会等参加費100,000、転退職員餞別金53,000
(4)事務費	130,000	155,030	25,030	総会案内状発送費71,900、総会資料代40,500
2 広報費	710,000	643,150	△ 66,850	
(1)会報費	650,000	605,772	△ 44,228	制作・印刷費 (会員及び在校生等へ配布)
(2)ホームページ費	30,000	26,000	△ 4,000	ホームページ更新委託料
(3)事務費	30,000	11,378	△ 18,622	通信費、消耗品
3 教育振興費	2,270,000	2,145,664	△ 124,336	
(1)生徒奨励費	770,000	735,664	△ 34,336	鍋山祭240,000、卒業記念品174,616、ようこそ先輩30,000 新入生校章140,832、SSH・SGHのW指定バッチ150,216
(2)部活動奨励費	800,000	710,000	△ 90,000	関東大会以上の出場助成 (6部、12件)
(3)国際交流支援費	700,000	700,000	0	オーストラリア派遣450,000、オランダ派遣250,000
4 鹿山文庫費	300,000	171,099	△ 128,901	
(1)保存管理費	150,000	51,099	△ 98,901	地域交流施設管理指導費(祝日)助成
(2)藩校継承費	150,000	120,000	△ 30,000	藩校サミット補助100,000、鹿山文庫講演会の開催経費
5 諸 費	0	0	0	
6 予備費	797,030	0	△ 797,030	
合計	7,887,030	6,494,005	△ 1,393,025	

収入 7,983,526 - 支出 6,494,005 = 収支差額 1,489,521 (翌年度へ繰越)

### 2 基本基金会計

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
前年度末現在高	13,657,538	13,657,693	155	前年度より
増 積 立(+)	200	104	△ 96	利子
減 取崩し(-)	1,000,000	1,000,000	0	一般会計への繰出
当年度末現在高	12,657,738	12,657,797	59	

収支差額 12,657,797 (翌年度へ繰越)